

「フードバレーとまち」第2回講演会 「フードバレーふじのみや」からのメッセージ

フードバレーとまち講演会の第2回目として、フードバレー構想を提唱し、「フードバレー」という用語を商標登録するなど、先頭にたってまちづくりを推進されている静岡県富士宮市の小室直義市長をお招きして、講演会を行います。小室直義市長と米沢則寿市長の対談も予定しています。市民の皆さんへの周知、取材をお願いします。

趣旨説明

富士山の西南麓に広がる静岡県富士宮市は、豊かな自然に恵まれ、広大な朝霧高原の酪農や湧き水を使ったニジマス、日本一の標高差を生かした多品種の野菜など、古くから多くの食資源に恵まれ、それを大切に育んできました。

富士宮市は、平成16年から「フードバレー構想」を掲げ、市民と生産者・NPO・企業・大学が連携し、市を挙げて「食」のまちづくりに取り組んでいます。

「富士宮やきそば」は、全国的に知られ年間約60万人の観光客が訪れています。

今回の講演会では、富士宮市より小室直義市長をお迎えし、その先進的な取り組みについてお話をいただき「フードバレーとまち」のこれからを皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

【日時】 平成22年12月11日（土） 18:00～20:00

【会場】 とまちプラザ 大集会室（帯広市西4条南13丁目1番地）

【参加費】 無料（定員150名）

【プログラム】

(1) 開会あいさつ [18:00～18:05] 帯広市長 米沢 則寿

(2) 講演 [18:05～19:30]

「フードバレーふじのみや」

～富士山と豊かな水に育まれた食によるまちづくり～

講師 静岡県富士宮市長 小室 直義 氏

〔講師略歴〕 1948年生まれ。成城大学経済学部卒業と同時に富士宮市職員として

19年8カ月勤務。平成3年より市議会議員を2期8年歴任、平成15年4月富士宮市長に就任。平成16年4月に「フードバレー構想」を提唱し、自ら先頭に立って「富士山と豊かな水に育まれた食によるまちづくり」を強力に推進している。

(3) 対談 [19:30～20:00]

「フードバレー、これからの展開」

小室 富士宮市長と米沢 帯広市長の対談

【主催】 帯広市・帯広市中小企業研修連携会議

【後援】 北海道十勝総合振興局・十勝町村会・十勝地区農業協同組合長会・帯広商工会議所・(社)北海道中小企業家同友会帯広支部、(財)北海道中小企業総合支援センター・北海道中小企業団体中央会十勝支部・(財)十勝圏振興機構・帯広信用金庫

【申し込み】 12月8日（水）までに、FAX、メール、電話でお申し込みください。

【お問合せ先】 帯広市産業連携室 電話 0155-65-4163 FAX 0155-25-8254

メールアドレス relation@city.obihiro.hokkaido.jp

■なお、第3回フードバレーとまち講演会は、北海道中小企業家同友会帯広支部と共催し、全国B-1グランプリで有名な「富士宮やきそば学会」の会長 渡辺英彦さんをお招きして、1月19日（水）17:30～19:00（場所：ベルクラシック帯広）に開催いたしますので、富士宮シリーズ講演会としてご参加ください。